

## チーム・スプリント標準タイムの設定について

技術審判部会

- 1 400m走路を基準とし、1分24秒000へ変更する。
- 2 各走路における標準タイムは以下のように設定した。(過去5年間の総体時の20位相当タイムおよび計算結果の平均とした。)
  - (1) 400m走路による基準は平成24年度新潟インターハイのチーム・スプリントを分析し、初速分(0→200m=17秒263)を減じて、残距離(1000m)の平均秒速14.98m/sを初速分に足し、**1分24秒000以内**を算出した。
  - (2) 333.33m走路の場合  
国民体育大会実施における補正値を参考に初速分200mを減じた333.33m走路時の残距離(800m)の秒速を2%増(+0.3m/s)15.28m/sとして計算し、初速分を足し、1分09秒600であった。  
**【参考】**  
2009, 2010, 2011年度(いずれも333.33m走路)3年間のインターハイ20位のタイムを平均すると、1分09秒125になった。従って、この2つのタイムの平均を標準タイムにしたいが、検討の初年度につき、  
**1分09秒500以内**とした。
  - (3) 500m走路の場合  
(2)と同様に、400m走路時の残距離の秒速を2%減(-0.3m/s)14.68m/s(1300m)として計算し、初速分を足すと1分45秒790になった。  
過去の大会では、2008年度の埼玉総体の20位は1分45秒258であり、この2つのタイムの平均値として標準タイムを**1分45秒500以内**とした。
  - (4) 500m走路(250mで実施)の場合  
(2)と同様に、250m実施の残距離の秒速4%増として計算した場合、52秒560、ブロック大会実施比較(51秒541:インターハイ20位相当)で平均をすると**52秒000以内**とした。